

こんにちは、 **齋賀 一 さん**[マイページ](#) | [ログアウト](#) [2,985cap](#) |  [0Pt](#)[ガイドライン・診断基準へ戻る](#)クリップする ツイート 

1

 Pocket  0 feed

ピーナッツ摂取で小児のアレルギー発症を予防 米食物アレルギーGL改訂案

[ガイドライン・診断基準](#) | 2016.04.20 07:05

米国立アレルギー感染症研究所（NIAID）は2010年に発行された米国食物アレルギーの診断と管理に関するガイドライン（GL）の2016年改訂案を発表した。今回の改訂では、医療関係者、親、育児介助者に、小児のピーナツアレルギー発症予防のための3つの推奨を提示している。

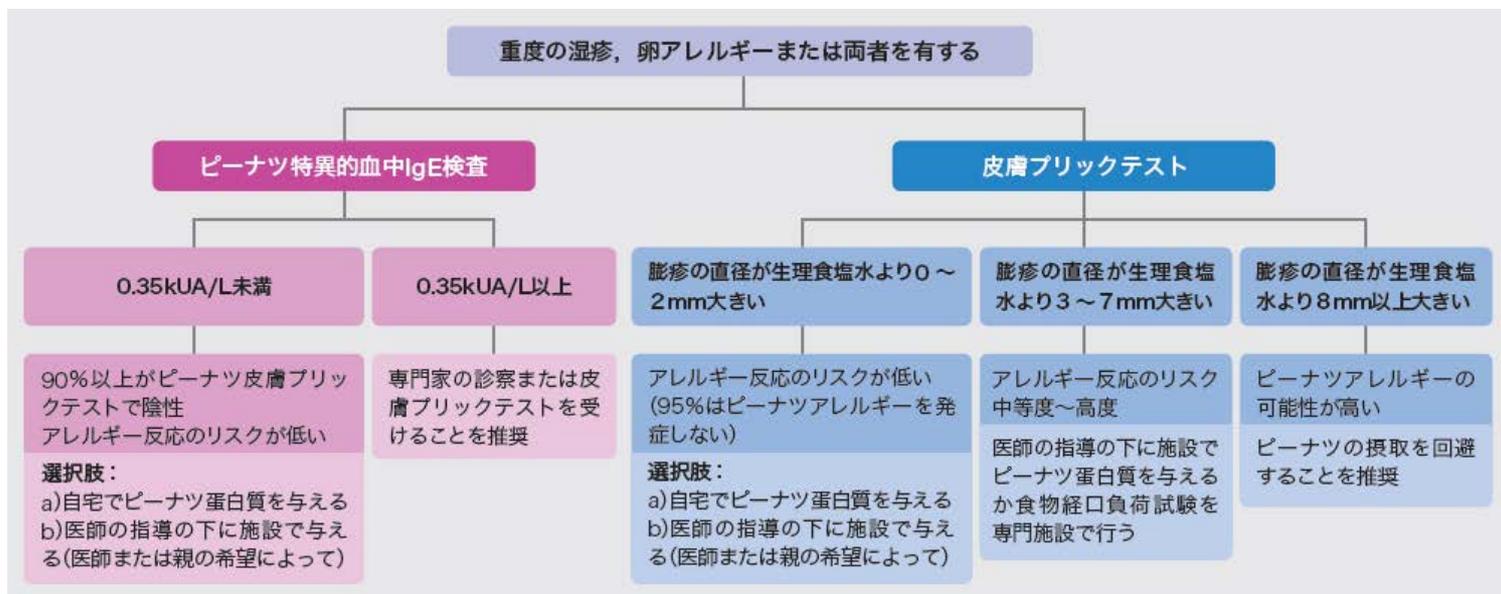
この記事はおよそ**2分**で読むことができます

特異的sIgE 0.35kUA/L未満は低リスク

LEAP研究は、重度の湿疹、卵アレルギーまたは両者を有する乳幼児にピーナツ蛋白質を摂取させることで、ピーナツアレルギー発症を有意に抑制できることをランダム化比較試験（RCT）で示した。NIAIDはこの結果を受けて、GL改訂委員会が召集した専門調査会において2010年1月～15年6月にPubMedを検索、3つの推奨を提示した。

推奨1：重度の湿疹、卵アレルギーまたは両者を有する乳幼児には、ピーナツアレルギーリスクを低下させるために生後4～6カ月までに年齢に見合ったピーナツ蛋白質を含有する食事を開始することが推奨されるが、ピーナツを与える前に特異的血中IgE検査（sIgE）または皮膚プリックテストを行うことを推奨している（）。

図. 重度の湿疹または卵アレルギーを有する小児のピーナツアレルギーテストアルゴリズム



(NIAID米国食物アレルギーの診断と管理に関するGL改訂案)

ピーナツ特異的sIgEを行った場合は、0.35kUA/L未満または以上に分類する。

sIgE 0.35kUA/L未満の場合、アレルギー反応のリスクは低いため、ピーナツ蛋白質2mg以下を自宅で与える。親や医療関係者が不安を感じる場合は医療施設で医師の指導の下に与える。

sIgE 0.35kUA/L以上の場合は、専門家の診察とSPTを受けることを推奨する。

定期的にピーナツ蛋白質を摂取

皮膚プリックテストを行った場合は、生理食塩水を用いた場合と比べて膨疹の直径が0~2mm, 3~7mm, 8mm以上大きい3群に分類する。

0~2mmの場合は、自宅でピーナツ蛋白質2mg以下を最初に与える（不安な場合は医療施設で医師の指導の下に与える）。

3~7mmの場合、医師の指導の下でピーナツ蛋白質を与えるか、または専門施設で食物経口負荷試験を行うことを推奨する。この群に属する児はピーナツアレルギーを発症しない可能性があり、ピーナツ蛋白質摂取が有益な可能性がある。ピーナツ蛋白質摂取または食物経口負荷試験で、アレルギー反応が認められない場合は児の食事にピーナツを加えるべきであり、アレルギー反応が認められた場合はピーナツの摂取を避け、家族は食物アレルギー管理について専門家に相談すべきである。

8mm以上の場合は、児がピーナツアレルギーを発症する可能性が高いため、児の食事にピーナツを加えることを推奨しない。この群の児はピーナツの摂取を避け、家族は食物アレルギー管理について専門家に相談すべきである。

児の食事にピーナッツを加える場合は、ピーナッツ蛋白質を1週間に3回以上に分けて、計約6～7mg定期的に摂取するようにする（LEAP研究では12～24カ月の児の75%が同量のピーナッツを摂取）。

軽～中リスクは検査なしで摂取

推奨2：軽度～中等度の湿疹を有する乳幼児には、ピーナツアレルギーのリスクを低下させるために生後4～6カ月までに年齢に見合ったピーナツ蛋白質を含む食事を与えることを推奨する。この群に属する児は医療機関での検査を行わずに自宅でピーナツ摂取を始めることが推奨される。医療関係者や育児介助者の中には専門施設での検査を希望する者もいるが、その場合はアルゴリズム（）を参照する。

推奨3：湿疹または食物アレルギーのない乳幼児には家族の希望や文化的習慣に従って、他の固形食に加え年齢に見合ったピーナツ蛋白質を含む食品を摂取することが推奨される。

国によって使い分けを

GL改訂案で示された乳幼児における利害に関しては専門調査会の意見によるものであるが、実際には地域・社会的なピーナツ消費量とピーナツ感受性の違いも関係してくる。ピーナツ製品が成人に広く消費されていない国では、早期のピーナツ摂取が感受性とアレルギー発症を増加させる可能性がある。同GLは社会的な習慣や基準の中で使うよう、NIAIDの専門調査会は注意を喚起している。

診療科

[一般内科](#) [アレルギー科](#)

疾患・領域・ジャンル

[その他アレルギー疾患](#) [その他海外公的機関](#) [ガイドライン・声明](#)

コメント一覧（14件） [コメント投稿／閲覧は、医師会員限定です。](#)

[人気順](#)

[新着順](#)

国やピーナツ豆製造過程の相違に依る取り扱いに差異はないのでしょうか？

共感する 2

共感しない 0

11:31 2016.04.20 |

[abc~xyz](#)

毒をもって毒を制す？

共感する 1

共感しない 0

12:51 2016.04.20 |

[こー](#)

ピーナツ摂食でピーナツアレルギー以外の食物アレルギーが予防できるわけではありません

共感する 1

共感しない 0

12:53 2016.04.20 |

[にゃんた](#)

犬だか猫だかも小さいうちから接するとアレルギーが減るとか、ありましたよね。免疫機能が固まる前に慣れさせておくということですかね？

共感する 1

共感しない 0

13:13 2016.04.20 |

[poirot](#)

ピーナツ製品が成人に広く消費されている国とありますが、日本はこれにあてはまるのでしょうか。いずれにしても取り扱いに注意したいGLですね。

共感する 0

共感しない 0

11:46 2016.04.20 |

[ceruleanblue](#)

いろいろ発案しますね

共感する 0

共感しない 0

12:12 2016.04.20 |

[ひでくん](#)

ピーナツの効能がわかりました。

共感する 0

共感しない 0

12:34 2016.04.20 |

[kazu0417](#)

よくわかりません。

共感する 0

共感しない 0

13:30 2016.04.20 |

[ぶた山さん](#)

うまくいくといいですね。

共感する 0

共感しない 0

13:41 2016.04.20 |

[a](#)

なかなかチャレンジしてますね。

共感する 0

共感しない 0

13:41 2016.04.20 |

[Dr.bush](#)

1

2

[<先頭へ](#) [<前へ](#)

[次へ>](#) [最後へ>](#)



Comme

関連記事

来春のスギ花粉，控えめの予測でも飛散は多め 2015.10.08

薬物治療中の皮膚掻痒症，皮疹に注意を呼びかけ 2015.12.17

生後1年以内に動物と触れ合うことで小児喘息リスクが低下 2015.11.06

国際複合糖質連合賞を大阪大・木下タロウ氏が受賞 2015.09.29

食物アレルギー診療GL改訂，鋭意進行中 2016.03.02

この記事を読んだ人はこんな記事も読んでいます

斎藤環氏ら「TVタックル」放送の暴力支援に抗議 2016/04/05

女性はTAVR後の1年死亡率が低い 2016/04/07

ビタミンD低値の膝OAへの補充療法，有益性なし 2016/04/01

日本人糖尿病の心血管イベント像 2016/04/07

震災PTSDが慢性心不全の予後に悪影響 2016/04/06

斎賀 一先生だけにお届けする特別記事

高血圧、糖尿病それぞれの立場からの薬物治療、特に併用療法と配合剤使用の注意点について
[200cap]
2016.04.01[PR]



セレクト記事

設定変更

エコノミークラス症候群、発症防止徹底を指示...安倍首相〔読売新聞〕
2016.04.20

エコノミークラス症候群、搬送増える...避難生活長期化〔読売新聞〕
2016.04.20

ピーナッツ摂取で小児のアレルギー発症を予防
2016.04.20

被災地の車中泊，やむをえなければこう対応
2016.04.19

熊本で14人がエコノミー症候群...車中泊3日間続けた住民も〔読売新聞〕
2016.04.19

<第10回> 「付き添い者と外来受診した高齢者」にどう接するか

2016.04.18



おすすめ記事

その症状、ファブリー病では？ ファブリー病患者
説明資料の請求はこちら。 [50cap]

2015.09.29 [PR]



ワンクリックアンケート

[一覧を見る](#) □

“熊本支援、今できることは？”

募金

支援物資を送る

現地で支援活動

ふるさと納税

被災当事者

特にない



[投票せずに結果を見る](#) □

お知らせ

熊本県在住・在勤のMedical Tribune紙読者の皆様へ

2016.04.20

3月の賞品当選者発表！

2016.04.04

ランキング 2016.04.13~2016.04.19

[アクセス](#)

[注目](#)

1 病院は、患者は大丈夫か—熊本地震レポート

2 P-CABによるピロリ菌除菌療法の実力のほどは？

3 難治性RAに経口JAK 1/2阻害薬が有効

4 H2ブロッカーが心不全発症を抑制する？

5 PCSK9阻害薬、1年間のLDL-C減少効果

クリップ記事

[クリップ一覧](#) □

✓ [也中海食のカロリー制限食に優れた乳がん初発予防効果を確認](#)

2015.09.15

[アクセスランキング一覧](#) □

希少疾患・難治性疾患

副作用・相互作用を
まとめて検索

安心処方 infobox



ウェブ動画セミナー
クリニック開業
経営フォーラム

動画を最後まで
閲覧すると
50cap
贈呈!

あなたの写真が新聞一面を飾る!

季節の写真を
大募集

熊本地震関連レポート

 **ウェブ学会速報**

特別企画
**サムス力適正使用のために
—エリア座談会—**

薬物動態の変化を伴う
薬物相互作用

Medical Tribune

こんにちは、 [ゲスト](#) さん [ログイン](#)
[ロ](#) [ガイドライン・診断基準へ戻る](#)

[Tweet](#)  [feed](#)

ピーナッツ摂取で小児のアレル ギー発症を予防

[ホーム](#) > [ニュース](#) > [2016年](#) > [ガイドライン・診断基準](#) > ピーナッツ摂取で小児のアレルギー発症を予防



[ページの先頭へ](#)

ホーム

[ニュース](#)

[連載](#)

[学会](#)

[セミナー](#)

[医療経営](#)

[ライフ](#)

[▶ アクセスランキング](#)

[▶ 本サイトのご利用について](#)

[▶ ワンクリックアンケート](#)

[▶ プライバシーポリシー](#)

▶ [ディテールリング](#)

▶ [会社概要](#)

▶ [お問い合わせ](#)

▶ [よくあるご質問](#)

▶ [MTRについて](#)

Medical TribuneのSNS…



関連サイト…



Copyright © 2007- 2016 Medical Tribune, Inc. All rights reserved.